

令和7年度 旧日本銀行新潟支店長役宅「砂丘館」指定管理者事業計画

1. 管理運営の基本方針

伝統的な建築物を大切に維持管理することはもちろん、『おもてなし』の心を大切に管理運営します。

2. 運営に関する業務

- ・適切な人員配置を行い、お客様視点を心掛けた業務を行います。
- ・業務研修は内容に応じて繰り返し行います。他施設との研修や交流も継続して進めます。
- ・苦情を申し立てる人の立場に立って聞く姿勢を徹底することにより、苦情の申し立てやすい環境を常に維持します。
- ・苦情やご意見には迅速かつ適切に対応します。

3. 自主事業

別紙の通り

4. 開館予定

閑散期等において、臨時休館日を下記の通り年間5日間で設定いたします。また開館時間の短縮（午後7時閉館）の日程については下記の通り81日間設定しますが、その期間中に貸館利用の申込がある場合は通常通りの午後9時までの開館とします。

臨時休館日や開館時間短縮の日程については、来館者に迷惑が及ばないように努力いたします。

◎臨時休館日：7月15日、8月14・15日、12月26・27日 全5日間

◎短縮日程：令和7年12月9日～令和8年3月22日 休館日を除く81日間

5. 人員体制

○施設職員

職 種	員数	備 考
館長	1名	学芸員／防火管理者
受付	5名	(内1名非常勤)
自主事業担当（非常勤）	2名	
生活文化企画運営担当（非常勤）	1名	

○本社職員

本社指定管理担当職員（本社勤務）	1名	
------------------	----	--

本社は、館から報告を受けるとともに、随時必要な指示と支援を行います。

6. 自己評価の手法

広く施設見学者・利用者の生の声を集めるために、アンケートや感想ノートを常備します。また自主事業時にはその都度アンケートを実施し、感想・意見を集めます。

アンケート結果をその後の管理運営に生かしていきます。

毎月、館職員・非常勤職員、新潟ビルサービス担当者を交えた運営ミーティングを実施し、施設見学者・利用者の意見や要望を検討します。導き出された改善点や新たなアイデアで見学者・利用者が関心を持てるような企画または運営方針を再構築し、運営に活用します。

7. 収支予算

【収入】（単位：千円）

科 目	金 額	主 な 内 容
指定管理料	12,795	市からの委託料
自主財源	2,403	イベント収入、企業メセナ、寄付金、喫茶収入等
合 計	15,198	

【支出】（単位：千円）

科 目	金 額	主 な 内 容
人件費	10,324	
管理費	2,521	光熱水費、施設案内パンフ作成・発送費等
自主事業費	2,353	企画展展示材料費、イベント講師謝礼、喫茶運営費等
合 計	15,198	

砂丘館 2025年度(令和7年度) 自主事業計画

自主事業は「自主企画展」「芸術文化の催し」「生活文化の催し」「セミナー」「普及事業」「その他」27事業を実施する。

① 自主企画展／新潟のすぐれた美術家や、新潟に関わりなく、すぐれて現代的意義を持つ作家の個展やグループ展をギャラリーと館内を会場に開催する。(7事業)

原田哲男遺作ドローイング展 2025年4月18日～29日

旧新津市(現新潟市秋葉区)に生まれ1973年に渡仏後はフランスで制作・発表をし、国立ベルサイユ建築大で教鞭もとった彫刻家。2024年11月に亡くなった原田を偲び、4月20日に新潟で開かれる偲ぶ会にあわせ、遺作の素描(ドローイング)に彫刻を加えて展示する。



原田哲男作品

端午の節句展 2025年4月18日～5月18日

瓦の町・安田(阿賀野市)の瓦職人が制作した端午の節句にちなむ瓦のオブジェを二階座敷に展示する。旧齋藤家別邸と涵養荘と連携・同時開催

え・いえ 新潟絵屋25年・砂丘館20年 2025年5月30日～7月6日

絵が飾られる場所である「家」。そこではさまざまな家の内部の空間、壁、採光、インテリア等と絵とがともに見られることで「絵のある生活」が営まれる時空を生み出している。砂丘館の指定管理者の構成員である認定NPO法人新潟絵屋はそのような生活空間と美術をつなげることを目的のひとつとして活動し、昭和初期の住宅である砂丘館にもいつも絵を飾ってきた。新潟絵屋開設25年、砂丘館開館20年を記念し、さまざまな所蔵家が家に飾る絵をお借りして展示を構成する。



床の間の現代絵画(イメージ)

華雪展 2025年7月26日～8月31日

砂丘館で2007年に個展を、2011年には栗田宏(画家)、2019年には竹俣勇吉(金工作家)と二人展を開催し、2012年には水と土の芸術祭にも出品したした書家の華雪。砂丘館の個展としては14年ぶりとなる今回は「新潟島」をテーマに中央区のさまざまな店舗にも同時展示し、旧新潟町をカバーする新潟島を観光に作品をみながら回遊してもらうことを仕掛ける。



華雪作品 2007年の展示より

藤原祥展 2025年10月10日～11月16日

松江市生まれ。スペインのサン・フェルナンド国立美術学校に学んだ藤原は現在千葉市を拠点に制作活動が続けている。光の輝き、植物の気配などを漂わせる色と形が土の気配をにじませる質感と溶け合い、強い存在感を感じさせる抽象作品の世界を紹介する。



藤原祥作品

映像展示2025-6 ① 吉原悠博 2025年12月9日～21日
② mikkyoz018 2026年1月6日～11日
② 原田健一 2026年1月20日～2月1日

2012年から毎年作品を紹介してきたmikkyoz、2023年から新たに新作を定期発表するようになった吉原悠博に、2020年に回顧的展示を開催した原田健一の2人+2 unitの映像作品紹介する。



2020年原田健一の映像と写真展示風景

綿高一郎コレクション展 2026年2月20日～3月22日

西東京市在住の美術コレクター綿高一郎氏が長年蒐集した松田正平、中村忠二、森幸夫、喜多村知、木田金次郎などの近現代日本の絵画に朝鮮の民画や陶器、木工品などを加えて展示する。



松田正平作品(イメージ)

② 芸術文化の活動／蔵や居間・茶の間・座敷を会場に、新潟の音楽家、パフォーマーの公演を行う。（7事業）

- ・薫風之音ライブ 6月1日
- ・津軽三味線 小林組。ライブ 6月21日
- ・堀川久子ダンス公演 7月（予定）
- ・能勢山陽生・宮本尚晃ライブ 7月20日
- ・岡本宮之助新内公演11月8・9日
- ・平原慎太郎ダンス公演 11月22・23・24日
- ・タナカ・トシユキ&ファビオ・ボッタッツォジャズライブ 12月14日



津軽三味線小林組。



新内流し（岡本宮之助）



平原慎太郎

③ 生活文化の活動／伝統的住空間を生かし日本の生活文化を体験する催しを行う。（7事業）

- ・四葩のコンサート 7月6日
- ・庭園実技講習 松と高木の剪定 6月28日
（協力 新潟造園建設業協会）
- ・村松栗モンブランを味わう 10月11日
- ・庭園実技講習 雪囲いと雪吊り 11月15日
協力 新潟造園建設業協会）
- ・秋HIYORI 10月25日
- ・新春神楽めぐり2026年1月10日旧齋藤家別邸と連携）
- ・香道入門講座 11月30日、2026年3月15日



村松栗モンブランを味わう



庭園実技講習



高森いざや神楽

④ セミナー（3事業）

- ・解説ボランティア養成講座 6月（予定）
- ・初心者のためのふるまち新潟をどり鑑賞講座 9月7日
- ・はにわの世界 秋を予定

⑤ 普及事業／砂丘館を知り、親しんでもらうための催し（1事業）

- ・砂愉日（すなあそび）砂丘館マルシェ 9月27.28日
砂丘館という場を多くの方に知っていただくため、砂丘館全体を会場にマルシェ（フリーマーケット）、バザー、ライブ等を開催する。



砂愉日 砂丘館マルシェ2021

⑥ そのほか（2事業）

- ・花と絵による館内のしつらい 常時
生け花と「砂丘館セレクション（新潟市内の所蔵家から借用した絵）」で館内を飾る。
- ・見学者への解説 土日・祝休日
解説ボランティア養成講座を受講したボランティアにより、来館者に館内の解説を行う。